



つながるカレッジねりま みどり分野

コミュニティ・ガーデナーコース 講座だより

第13回「ガーデンのデザイン」

日時：令和3年10月21日（木） 9:30～12:30

会場：四季の香ローズガーデン 講習棟 講習室（2F）

今回の講座の流れ

テーマカラーと植物選びの視点について学んだ後、4つのグループに分かれて、デザインワークで冬春花壇のデザインを考えました。

各プログラムの様子



デザインワークの様子①



デザインワークの様子②

テーマカラーと植物選び

「色」はガーデンの第一印象を決める大きな要素です。講座では、色の組み合わせの方法として、調和しやすい同系色を組み合わせる方法や、互いを引き立て合う反対の色を組み合わせる方法を学びました。

植物を選ぶ時は、生長した後の形や色を意識します。

デザインワーク

季節のテーマ「元気で明るく暖かい！」と、テーマカラーである、オレンジを中心とした「ビタミンカラー」を意識して、ガーデンのデザインをグループで作っていました。まず、テーマカラーに沿った植物をリストアップした後、その植物の形に合ったパーツを花壇に配置しました。

今回作成した4つのデザイン案をベースに、12月に植え付けを行います。



作成したデザイン案

「コミュニティ・ガーデン」とは？

コミュニティ・ガーデンは「地域の庭」。まちかどの花壇や公園、マンションの中庭など、場所も大きさも形もいろいろです。仲間と一緒に愛着をもって手入れし、作る人や見て楽しむ人の笑顔があれば、コミュニティ・ガーデンです。

今回のキーワード

「メインは、丈夫でずっと咲き続ける「面」になる植物です」

(NPO Green Works 三浦)

いつもきれいな花壇にするためのメインの植物とは、こんもりとまとまる「面」になる植物です。冬から春にかけての花壇なら、パンジー、ビオラ、ノースポール、夏から秋にかけてなら、ペタスやニチニチソウなどの耐寒性や耐暑性、乾燥に強い、丈夫で、ずっと咲き続ける普通の植物です。

デザインというと、変わったもの、特徴的な目立つものを選ぶこと、と思いがちです。でも、丈夫で、ずっと咲き続ける植物の中から選べる色や組み合わせは、いく通りもあり、色の組み合わせが変わるだけで、印象はガラッと変わります。

丈夫で、ずっと咲き続ける植物でデザインされた花壇は、いつもきれいなまちの風景を作ってくれます。

今月のお花紹介

シロタエギク



白い毛の生えたシルバリーリーフが特徴の常緑多年草です。メインの花を引き立てる植物として利用できます。また、剪定をしないで育てると、黄色い花が咲きます。